会　社　名　株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名　代表取締役社長　金　武祚
上場取引所　東証プライム市場（2929）
本社所在地　京都市西京区御陵大原１番地４９
電 話 番 号　０７５－３９４－８６００

PHARMA FOODS INTERNATIONAL CO.,LTD.

News Release　2026 年 3 月 1 1 日

「OVOmics®：タマゴの殻をやぶり新たな産業をおこす」
日本農芸化学会 2026 年度大会にてランチョンセミナーを開催

株式会社ファーマフーズ（本社：京都市、代表取締役：金武祚）は、2026 年 3 月 9 日～3 月 12 日に同志社大学今出川キャンパス・室町キャンパスにて開催される日本農芸化学会 2026 年度京都大会において、下記の通りタマゴ発の"殻やぶり"なイノベーションと産業化をテーマとしたランチョンセミナーを実施いたします。

1. 日本農芸化学会ランチョンセミナー 開催概要

演題：　**「OVOmics® タマゴの殻をやぶり新たな産業をおこす」**
日時：　2026 年 3 月 12 日（木）12:15～13:05
場所：　同志社大学今出川キャンパス・室町キャンパス　B2 会場/RY202 (良心館 2F)
演者：　信州大学 社会共創クラスター　繊維科学研究所 卓越教授　金 翼水 先生
　　株式会社ファーマフーズ 専務取締役　金 英一
座長：　京都大学大学院農学研究科 教授　佐藤 健司 先生

2. 講演要旨

テーマ 1「未利用資源が未来をつつむ：卵殻膜から生まれた新繊維 ovoveil®(オボヴェール)」
株式会社ファーマフーズ 金 英一

タマゴは 21 日間でヒヨコへと成長する神秘的な生命体です。当社は、卵黄・卵白から骨や神経が形成される点に注目し、タマゴを網羅的に研究する「OVOmics®（オボミクス）」を提唱してまいりました。この着想により、タマゴから食品・化粧品・医薬品分野への機能性素材を開発し、応用してきました。近年は、タマゴの殻を「やぶる」新たな発想から、卵殻膜(タマゴの殻の内側にある薄皮)からアグリ、繊維、電池材料といった新産業への展開も見出しています。前半部分では、身近なタマゴが切り拓く最新の産業可能性についてご紹介します。

卵殻膜のアップサイクルと社会実装に向けた研究開発スキーム

テーマ２「未利用資源が未来を動かす：卵殻膜から生まれた新電極材料」

信州大学 卓越教授 金 翼水 先生

本講演では、未利用資源である卵殻膜を、次世代スーパーキャパシタ用の高性能電極材料へと転換した研究成果を紹介します。私たちは、卵殻膜特有の繊維状ネットワーク構造およびヘテロ元素に富む特性を活かし、多元素ドープ型三次元多孔質活性炭と、金属ナノ合金および MXene を基盤とする二次元複合電極の開発に成功しました。これらの電極は、従来の材料を凌駕する高い性能を示し、完全循環型・持続可能エネルギー材料戦略の新たな可能性が期待されます。

【本資料に関するお問い合わせ先】

経営戦略部・広報担当　下記リンクのお問い合わせフォームをご利用ください。
https://www.pharmafoods.co.jp/contact/other